

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
 【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

1 危機管理対策の推進

(1) 防災体制の強化

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
1	地域防災計画の見直し	■	■	■	■	■	・地域防災計画の見直し ・災害時職員初期動員マニュアルの周知及び避難訓練等の充実・強化 ・災害マップの改定・HPへの公開	総務課	△	近隣の状況を確認しながら、平成25年度の改定に向けて検討。	△	地域防災計画については、昨年6月に「災害対策基本法」の一部が改正され、改定に向けて近隣自治体と情報交換を行ったが、本年6月に前回の改正で継続的に検討された諸課題を踏まえ、第2弾の法改正がなされた。そのため、改めて計画を見直す必要があり、平成25年度中の改定目標は、達成されていない。	△	地域防災計画については、平成25年6月に「災害対策基本法」が大幅に改正され、同法に基づいた地域防災計画を見直す必要があるが、平成26年度中の改定目標は達成されていない。	○	平成27年度の9月補正により地域防災計画の改定に着手。平成28年度までの2箇年で改定を行う。平成27年度は素案を作成。	◎	前年度の素案を防災会議に諮り、内容の確認・追加・訂正等を行い、9月末に完成。ホームページにて閲覧が可能。
2	自主防災組織結成の促進	■	■	■	■	■	各行政区単位等への自主防災組織設置促進 (現状 4団体⇒目標値 8団体)	総務課	△	本年度の新規結成団体はなかったが、結成に向けた相談が1行政区からあった。	○	平成25年8月3日付けで、5団体目となる第12区(福島地区)自主防災会が結成された。9月1日実施の町防災訓練に参加し、9月9日には独自の防災訓練を実施した。また、結成には至っていないが、1行政区から結成の相談があった。	△	本年度、新規に組織化された団体はなかったが、結成に向けた相談が1行政区からあった。	○	平成27年4月1日付で10区鍋谷地区の自主防災会が結成された。11月29日には、独自の防災訓練を実施した。また、まだ結成には至っていないが、1行政区から結成に関する相談があった。	△	2行政区から自主防災組織設立の相談があった。平成29年4月から設立予定。(上中森、ふれあいタウン)
3	災害物資等協定の締結	■	■	■	■	■	災害発生時に各種人的・物的支援について、町と民間事業者等との間で協定の締結 (現状 1件⇒目標値 3件)	総務課	◎	平成25年3月に、災害時における館林市邑楽郡隣接一市五町相互応援協定の締結。	◎	平成25年7月に、廃棄物と環境を考える協議会に加盟する団体を構成する67の自治体間で、災害時における「廃棄物と環境を考える協議会加盟団体災害時応援協定」を締結。	○	既に目標は達成済みであるが、食料品を確保する観点から、対応可能な民間企業との防災協定の締結を模索する。	○	平成27年11月26日に一般社団法人群馬県LPガス協会館林邑楽支部と「災害時におけるLPガス等供給協力に関する協定書」を、平成28年1月19日に生活協同組合コープぐんまと「災害時における応急生活物資供給等に関する協定書」を締結。	◎	町内に事業所を構える17業者と平成29年2月13日に災害協定を結び、平成29年3月2日には、ケーブルテレビとも放送協定を結んだ。
4	災害対策	■	■	■	■	■	地震対策、ゲリラ豪雨対策、洪水対策、火山噴火対策等	総務課	○	本年度は大きな災害はなかった。平成25年3月に模擬火災演習を実施し、係長職以上の職員が参加。	○	本年度は、台風による集中豪雨や豪雪が発生し、全国的に甚大な被害が発生した。その際、本町では職員初動マニュアルに基づき、災害警戒本部を設置し、初期動員で対応した。平成25年9月実施の防災訓練には、新たな参加機関として、陸上自衛隊第12後方支援隊補給中隊(新町駐屯地)と株式会社伊藤園(防災協定締結団体)に参加して頂いた。平成26年3月には、役場自衛消防隊の訓練を実施し、庁舎勤務の係長職以上の職員が参加。	○	本年度、本町においては大きな災害はなかったが、全国各地で台風による風水害や土砂崩れ、御嶽山の噴火等の甚大な被害が発生した。台風時における本町の対応として、職員初動マニュアルに基づき、災害警戒本部を設置し、初期動員で対応した。平成27年3月には、役場自衛消防隊の訓練を実施し、庁舎勤務の係長職以上の職員が参加。	○	平成27年9月に実施した、町防災訓練では、今年度より住民参加型として、地域住民の方に初期消火訓練・AEDを使用した応急救護訓練・水防訓練・倒壊建物救出訓練を行い防災意識の高揚を図った。	○	千代田町地域防災計画の見直しを行うとともに、職員向けの災害対応マニュアルも改訂を行ったことにより、より迅速に活動できるようになった。平成28年11月4日、災害伝承10年プロジェクト防災講演を行った。平成28年11月19日、避難所運営ゲーム(HUG)を町内自主防災組織を中心に行った。
								住民福祉課	○	各施設において避難訓練を実施。	○	各施設において避難訓練を実施	○	各施設において避難訓練を実施。	◎	各施設において避難訓練を実施。		
								環境保健課	○	町民プラザと合同による避難訓練実施。	○	町民プラザと合同による避難訓練実施。伊藤園との災害協定により、非常時ライフラインベンダー(災害対応自動販売機)を設置し、非常時の飲料水を確保した。	○	町民プラザと合同による避難訓練実施。去年に引き続き、非常時ライフラインベンダー(災害対応自動販売機)を設置し、非常時の飲料水を確保した。	○	町民プラザと合同による避難訓練実施。伊藤園との災害協定により、非常時ライフラインベンダー(災害対応自動販売機)を設置し、非常時の飲料水を確保した。避難所としての使用に備え、食糧、飲料水、粉ミルクを保管するようになった。		
								経済課	○	幹線排水路等やサイホンの清掃を実施。用水及び各ゲート等の維持管理を実施。	○	小規模土地改良事業を活用し、3地区で約690mの水路新設工事を実施し、排水路等の増水について低減を図ることができた。また、幹線排水路等の清掃(浚渫)を実施するとともに、用水およびゲート等の維持管理を実施した。	○	今年度も主要の用排水路における修繕工事等を実施した。内容としては、嵩上工事が2箇所、布設替え工事が1箇所、角落し補修工事が3箇所、補修工事全般が3箇所であり、これにより排水路等の増水について低減を図ることができた。また、引き続き幹線排水路等の清掃(浚渫)を4箇所において実施するとともに、用水路およびゲート等の維持管理を実施した。	○	今年度も主要の用排水路における修繕工事等を実施した。内容としては、嵩上工事が3箇所、角落し補修工事が3箇所、溝蓋布設工事が2箇所、土留擁壁工事が1箇所、補修工事が4箇所、改修工事が1箇所、であり、これにより排水路等の増水について低減を図ることができた。また、引き続き幹線排水路等の清掃(浚渫)を7箇所において実施するとともに、用水路およびゲート等の維持管理を実施した。		
								都市整備課(建設水道課)	○	里東地区の雨水軽減対策として角落し等を設置し、ピーク流出量の低減を実施。幹線排水路の横断管の清掃2箇所実施。	◎	里東地区の雨水軽減対策について、仮設土のう積工により継続調査を実施してきたところ、県道側溝からオーバーフローする水嵩を確認し、側溝の側壁嵩上げを施工して町道への流出防止対策を実施した。	◎	町道への雨水流出の軽減が図られた。維持管理として、既存排水路の清掃を実施した。	◎	道路冠水の軽減対策として、下中森地内で側溝断面アップの改修工事(H240×W240からH400×W300)を実施した。維持管理として既存排水路の清掃を実施した。		
								教育委員会	○	町民プラザにおいて、非常用発電機から災害時における非常照明・誘導灯・研修棟内照明を確保できるよう改修。各施設において避難訓練を実施。	○	町民プラザでは、非常用発電機の蓄電池が寿命のため取替を行った。温水プール・総合体育館では、災害発生直後からの長時間にわたる停電に対応するため、移動式の非常用発電機を導入した。各施設において、災害時を想定した避難訓練・消防訓練を実施した。	○	町民プラザでは、非常照明器具が古く、蓄電池も寿命となったため、現在の建築基準法に適合するように器具の交換を行った。温水プール・総合体育館では、災害時に使用する非常用発電機の試験運転を実施した。各施設において、災害時を想定した避難訓練・消防訓練を実施した。	○	各施設において、災害時を想定した避難訓練・消火訓練を実施した。町民プラザでは、温水便座があるトイレに自動火災報知設備が未設置だったため、消防法改正に伴い、煙感知器を整備した。また、誘導灯の交換も随時行った。温水プール・総合体育館では、災害時に使用する非常用発電機の試験運転を実施した。町立図書館では、消防署の指導の下、火災報知設備をトイレ3箇所に設置した。		

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
 【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

(2) 生活環境の安全安心

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉			進捗状況〈平成25年度〉			進捗状況〈平成26年度〉			進捗状況〈平成27年度〉			進捗状況〈平成28年度〉		
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	
5	放射能対策						<ul style="list-style-type: none"> 定期的な環境測定(月1回以上、町内10箇所以上測定) 水道水の測定(月1回以上、4浄水場実施) 農作物等の測定(県にて詳細に測定) 	総務課	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	放射能測定については、住民福祉課・環境保健課・経済課・建設水道課・教育委員会において実施し、適宜、広報紙及びホームページに住民向けの情報提供を行っている。	
							住民福祉課	◎	保育園の園庭において定期的な放射線測定及び給食用食材の定期的な放射線測定を行い、測定結果をホームページにおいて公表している。	◎	給食食材の定期的な放射線測定を行い、測定結果をホームページにおいて公表している。	○	給食食材の放射線測定を行い、測定結果をホームページにおいて公表している。 園庭の放射線測定については、町内の測定値に変動がみられた場合、再開する予定。	○	園庭で栽培した食材(じゃがいも、大根)について、町内1園で放射線測定を行った。 園庭の放射線測定については、町内の測定値に変動がみられた場合、再開する予定。	△	町内の測定値に変動がみられた場合に再開し、園庭で栽培・収穫した野菜等に関しても同じく町内の値の変化によって測定を再開する。						
							環境保健課	◎	毎月1回、町内10箇所空間線量を測定し、ホームページと翌月の広報紙に掲載している。	◎	毎月1回、町内10箇所空間線量を測定し、ホームページと翌月の広報紙に掲載している。	◎	測定箇所については、町内10箇所に変更はないが、数値が安定しているため、毎月行っていた測定を今年度より2か月に1回とした。測定を行った空間線量については、ホームページと翌月の広報紙に掲載している。	◎	測定数値が安定しているため、毎月1回の測定を2か月に1回とし、町内10箇所の空間線量を測定し、ホームページと翌月の広報紙に掲載している。今後は、測定数値の状況により、測定間隔を調整していきたい。	◎	測定数値が安定しているため、測定を3か月に1回とし、町内10箇所の空間線量を測定し、ホームページと翌月の広報紙に掲載している。今後は、測定数値の状況により、測定間隔を調整していきたい。						
							経済課	◎	県に依頼し放射性物質検査を実施。「米」「大豆」「小麦」「二条大麦」「ナス」「イチゴ」「白菜」について検査を実施したところ、結果は全て「検出せず」ということで、千代田町の農産物については、安全が確認された。	◎	県に依頼し放射性物質検査を実施。「米」「大豆」「小麦」「二条大麦」「ナス」「イチゴ」「白菜」について検査を実施したところ、結果は全て「検出せず」ということで、千代田町の農産物については、安全が確認された。	◎	県に依頼し放射性物質検査を実施。「米」「小麦」「二条大麦」「ナス」「イチゴ」「白菜」について検査を実施したところ、結果は全て「検出せず」ということで、千代田町の農産物については、安全が確認された。	◎	県に依頼し放射性物質検査を実施。「米」「小麦」「二条大麦」「ナス」等について検査を実施したところ、結果は全て「検出せず」ということで、千代田町の農産物については、安全が確認された。	◎	県に依頼し放射性物質検査を実施。「米」「小麦」「二条大麦」「六条大麦」「ナス」「白菜」「ニガウリ」について検査を実施したところ、結果は全て「検出せず」ということで、千代田町の農産物については、安全が確認された。						
							都市整備課(建設水道課)	◎	4浄水場において、累計48回/年の検査を実施。	◎	4浄水場において、累計48回/年の検査を実施。	◎	4浄水場において、累計48回/年の検査を実施。	◎	4浄水場において、累計48回/年の検査を実施。 H28.4.1より群馬県東部水道企業団による事業運営実施のため、企業団で統一基準により実施して行く。	◎	水道事業については、平成28年4月1日から群馬県東部水道企業団に移管となったため、該当なし。						
							教育委員会	◎	学校の校庭及び幼稚園の園庭において定期的に放射線量を測定し、測定結果を学校だより、園だより及びホームページにおいて公表している。 定期的給食用食材及び調理済み給食の放射線量を測定し、測定結果をホームページにより公表している。	◎	学校の校庭及び幼稚園の園庭において定期的に放射線量を測定し、測定結果を学校だより、園だより及びホームページにおいて公表している。 給食センターでは、定期的に給食用食材及び調理済み給食の放射線量を測定し、測定結果をホームページにおいて公表している。	◎	学校の校庭及び幼稚園の園庭において定期的に放射線量を測定し、測定結果を学校だより、園だより及び町ホームページにおいて公表している。 給食センターでは、毎日食材の一部を簡易検査機で測定し、また、その他東部教育事務所所有の放射能検査機で毎月1〜2食材を検査するとともに、調理済みの給食については、民間の検査機関に委託し、測定結果を町ホームページにおいて公表している。	◎	学校の校庭及び幼稚園の園庭において定期的に放射線量を測定し、測定結果を学校だより、園だより及び町ホームページにおいて公表した。 給食センターでは、毎日食材の一部を簡易検査機で測定した。また、東部教育事務所所有の放射能検査機で毎月1〜2食材を検査するとともに、調理済みの給食については、民間の検査機関に委託し、測定結果を町ホームページにおいて公表した。	○	学校の校庭及び幼稚園の園庭において、偶数月に放射線量を測定し、測定結果を学校だより、園だより及び町ホームページで公表した。 給食センターでは、放射線の放射線量検査を平成23〜27年までの5年間、町の簡易検査機で測定したが、平成28年度からはこれに代わり、東部教育事務所内の精密測定機を使用して測定食材を2食材と決めて毎月測定した。測定結果については、町ホームページにおいて公表した。また、調理済みの給食については、細菌検査は学期ごとに実施したものの放射線量検査は実施しなかった。						
6	その他の危機管理対策						<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 家畜感染症対策 テロ対策等 	総務課	本年度については、大規模な災害等もなかったため、実績はない。J-ALERTの全国的な試験が実施されたが、正常に作動することが確認された。 役場入口などに感染症対策として、消毒液を設置。	◎	大規模な災害や有事等もなかったため、実績はない。全国一斉のJ-ALERTの受信試験が実施されたが、正常に作動することを確認した。 役場入口などに感染症対策として、消毒液を設置。	◎	大規模な災害や有事等もなかったため、実績はない。全国一斉のJ-ALERTの受信試験が実施されたが、正常に作動することを確認した。 役場入口などに感染症対策として、消毒液を設置。選挙の期日前投票及び投票日には、消毒液とマスクを準備。	○	大規模な災害や有事等もなかったため、実績はない。全国一斉のJ-ALERTの受信試験が実施されたが、正常に作動することを確認した。 今年度より、携帯電話大手三社(ドコモ・au・ソフトバンク)が行っている災害エリアメールの発信手続きが完了し、J-ALERT以外の情報発信が出来ることとなった。	○	大規模な災害や有事等もなかったため、実績はない。全国一斉のJ-ALERTの受信試験が実施されたが、正常に作動することを確認した。						
							住民福祉課	○	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。保育園における、園児に対しての手洗い・うがい等の感染症予防の指導及び実施。	○	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。保育園における、園児に対しての手洗い・うがい等の感染症予防の指導及び実施。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。保育園における、園児に対しての手洗い・うがい等の感染症予防の指導及び実施。 インフルエンザ感染者情報を逐次、保育園から住民福祉課に対し行った。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。保育園における、園児に対しての手洗い・うがい等の感染症予防の指導及び実施。 インフルエンザ感染者情報を逐次、保育園から住民福祉課に対し行った。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。保育園における、園児に対しての手洗い・うがい等の感染症予防の指導及び実施。 インフルエンザ感染者情報を逐次、保育園から住民福祉課に対し行った。						
							環境保健課	○	「千代田町新型インフルエンザ等対策本部」の条例案について3月の議会に提案される。 保健センター入口などに感染症対策として、消毒液を設置。	○	平成25年6月に新型インフルエンザ等政府行動計画、12月に群馬県新型インフルエンザ等対策行動計画の策定がされ、市町村の行動計画を平成26年度中に策定するための県単位の会議に参加。 平成26年3月に千代田町新型インフルエンザ等対策行動計画策定に向けての策定委員会設置要綱の策定。	◎	新型インフルエンザ等対策行動計画策定委員会を設置し、協議の結果平成27年2月に新型インフルエンザ等対策行動計画を策定した。	○	住民接種マニュアル作成に向けての検討を行う。	○	平成28年度は、1市5町とも特定接種の登録を実施した。引き続き住民接種マニュアル作成に向けての検討を行う。						
							経済課	△	本年度については、家畜感染症の事例は報告されなかった。 千代田町家畜伝染病対策本部設置要綱、家畜伝染病発生時対応マニュアルの策定に向けて検討中。	△	千代田町特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱および発生時対応マニュアルを作成するにあたり、千代田町災害対策本部の資料を参考に検討を行った。	◎	今年度、千代田町特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱を策定し、発生時対応マニュアルを作成することができた。	◎	平成26年度に「千代田町特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱」を策定し、「発生時対応マニュアル」を作成したが、法改正や対応方法に変更がないか、適時内容の確認を実施。	○	平成26年度に策定した「千代田町特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱」及び「発生時対応マニュアル」について、法改正や対応方法の変更など、適時内容の確認を実施。						
							都市整備課(建設水道課)	◎	水道法検査頻度による水質検査の実施(水質基準による検査12回/年、色・濁り・残留塩素濃度検査1日1回)	◎	水道法検査頻度による水質検査の実施。(水質基準による検査12回/年、色・濁り・残留塩素濃度検査1日1回)	◎	水道法検査頻度による水質検査の実施。(水質基準による検査12回/年、色・濁り・残留塩素濃度検査1日1回)	◎	水道法検査頻度による水質検査の実施(水質基準による検査12回/年、色・濁り・残留塩素濃度検査1日1回) H28.4.1より群馬県東部水道企業団による事業運営実施のため、企業団で統一基準により実施して行く。	◎	水道事業については、平成28年4月1日から群馬県東部水道企業団に移管となったため、該当なし。						
							教育委員会	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。各学校施設においては、感染症流行時に感染症予防方法や発症状況について保護者に、情報提供し、園児・児童・生徒に対して、手洗い・うがい等感染症予防を呼びかけた。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置。各学校施設において、感染症流行時に感染症予防方法や発症状況について、保護者に情報提供し、園児・児童・生徒に対して、手洗い・うがい等感染症予防を呼びかけた。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、引き続き消毒液を設置。各学校施設において、感染症流行時に感染症予防方法や発症状況について、保護者に情報提供し、園児・児童・生徒に対して、手洗い・うがい等感染症予防を呼びかけた。 温水プール・総合体育館において、感染症流行状況等の情報提供を行った。	◎	各施設入口付近に感染症対策として、消毒液を設置した。各学校施設において、感染症流行時に感染症予防方法や発症状況について、保護者に情報提供し、園児・児童・生徒に対して、手洗い・うがい等感染症予防を呼びかけた。 温水プール・総合体育館において、感染症流行状況等の情報提供を行った。								

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

2 行政マネジメントの改革

(1) 経営的視点による事業運営

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
7	国・県等補助事業の活用	■	■	■	■	■	国・県等補助事業の活用の推進	財務課	△	政権交代が行われ、新たな自民党政権では、平成25年度補正予算により、地方自治体の財政負担を軽減するため「地域の元気交付金」を創設する予定で、今後、国の動向を注視していくことが必要となる。	◎	国の平成25年度第1号補正予算による交付金を、教育施設の改修に活用した。また、交付金以外の財源としては、後年度に地方交付税措置のある補正予算値を活用した。	◎	国の平成26年度第1号補正予算による「地方創生」関連の交付金を活用した。また地方債については、後年度の交付税措置があるもののみの借り入れとしている。	◎	国の平成27年度補正予算により創設された「地方創生加速化交付金」の交付決定を受けたが、交付決定が3月末であったため、事業実施は平成28年度へ繰越明許となった。また地方債については、後年度の交付税措置があるもののみの借り入れとしている。	◎	平成28年度へ繰越明許された「地方創生加速化交付金」により、従来からの川せがき及び産業祭については内容の拡充を図るとともに、「なかさと公園」を核とした新規イベントを開催し、町内外に町の魅力を発信した。また「植木の里 千代田町」をPRするための各種事業にも取り組んだ。地方債については、後年度の交付税措置があるもののみの借り入れとしている。
8	行政運営コストの低減と効率化	■	■	■	■	■	行政コストの計算	財務課	◎	平成22年度までの財務書類4表については、公表済。現在、平成23年度決算よる、財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成中で、今後、議会への報告とともにホームページにより公表していく予定。	◎	平成23年度までの財務書類4表については、公表済。現在、平成24年度決算よる、財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成中で、今後、議会への報告とともにホームページにより公表していく予定。	◎	平成24年度までの財務書類4表については、公表済。平成25年度決算よる財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成し、平成27年3月議会(全員協議会)への報告するとともにホームページにて公表した。	◎	平成26年度までの財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)については、ホームページにより公表済。平成27年度よる平成29年度末までの「統一的な基準」による財務書類の作成に向けた固定資産台帳を整備を実施した。	◎	平成27年度までの財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)については、ホームページにより公表済。また、国の求める平成29年度末までの「統一的な基準」による財務書類の作成に向けた各種準備を行った。
9	広域によるサービスの研究	■	■	■	■	■	行政サービス研究会の設置	総務課	○	各課局における専門分野での研究会の参加。両毛広域と東毛広域での協議会等への参加。水道・医療等広域で運営が可能な協議会、研究会への参加。	○	水道事業の広域化に向け、「群馬県東部水道事業の統合基本協定」を締結し、事業統合を推進中。両毛広域及び東毛広域での組合・協議会の今後の連携について研究会等へ参加。各課局における専門分野での研究会へ参加。	○	水道事業の広域化に向け、平成25年10月に「群馬県東部水道事業の統合基本協定」を締結し、平成28年4月の事業統合を目標に、定期的な協議会や幹事会を開催し、検討・調整を実施中。その他、各課局における専門分野に関しても、広域的な事業連携を推進するため、各種研究や協議等を実施。	○	水道事業の広域化に向け、平成25年10月に「群馬県東部水道事業の統合基本協定」を締結し、平成28年4月の事業統合に向け、定期的な協議会や幹事会を開催し、調整を実施。その他、各課局における専門分野に関しても、広域的な事業連携を推進するため、各種研究や協議等を実施。	○	平成28年4月1日から水道事業の広域化として、「群馬県東部水道事業団」を組織し安定的な事業運営を展開。その他、各課局における専門分野に関しても、広域的な事業連携を推進するため、各種研究や協議等を実施。

(2) 事務事業の見直し

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
10	事務事業の再構築	■	■	■	■	■	・行政評価委員会の設置 ・事務改善提案の募集と情報の共有化	総務課	△	行政評価委員会の設置や、事務改善提案の募集と情報の共有化については実施することが出来なかったが、事務事業手順書を活用することで、事務事業について見直しを行う。	○	平成26年1月27日に行政評価委員会が発足し、議会に平成26年度の事務事業指針を提出した。	○	平成26年度中に事務事業手順書についてデータ更新が完了した。行政評価委員会では、平成25年度決算の内容について事業ごとの詳細資料を作成するとともに、平成27年度予算の事務事業指針を策定し、資料として議会提出を行った。	○	行政評価委員会において、事務事業評価について協議・検討を実施し、所属長の評価を実施した。事業評価の内容については、議会に資料として提出を行った。	○	各課・局長による平成27年度の事務事業評価を行い、その結果として「課・局における事業内容及び「課・局における事務事業結果分析」を作成するとともに、平成29年度予算の事務事業指針を策定し、議会に資料として提出を行った。
11	会議運営の効率化	■	■	■	■	■	会議開催マニュアルの周知・徹底による会議運営の効率化と時間短縮の推進 (目標値:会議時間1時間以内)	総務課	△	会議開催マニュアルの策定が平成14年4月となっており、10年以上経過しており、そのまま周知・徹底することが難しいため、今年度については周知・徹底を見送り、会議マニュアルの策定について検討。	△	会議開催マニュアルの策定は出来なかったが、時差出勤制度を活用して夕方の会議に対応するなどの対応を周知している。	△	10年以上経過しているマニュアルの見直しを検討したが、策定には至らなかった。時間外の会議などでは職員が時差出勤をして対応している。	△	10年以上経過しているマニュアルの見直しを検討したが、策定には至らなかった。時間外の会議などでは職員が時差出勤をして対応している。	△	10年以上経過しているマニュアルの見直しを検討したが、策定には至らなかった。時間外の会議などでは職員が時差出勤をして対応している。
12	電子入札の推進	■	■	■	■	■	県協同システムによる電子入札導入検討	総務課	△	近隣自治体の状況をふまえながら、電子入札導入に向けて検討中。	△	近隣自治体の状況を踏まえながら、電子入札導入に向けて検討中。	△	近隣自治体の状況を踏まえながら、電子入札導入に向けて検討中。	△	近隣自治体の状況を踏まえながら、電子入札導入に向けて検討中。	○	平成29年度からの稼働を目標に町内業者及び電子入札参加業者への周知を行った。また、町内土木業者へは模擬入札を経験してもらい、発注者・受注者相互の電子入札を模擬的に行った。
13	町税の納付機会拡大と取納率向上の促進	■	■	■	■	■	コンビニエンスストア取納事務の検討	財務課	△	環境整備には、オンライン接続用の専用回線の整備や、システム整備及び代行業者への手数料の支払いなど、大きくコストがかかることから、今後も慎重に協議を進めていく。	△	環境整備には、オンライン接続用の専用回線の整備や、システム整備及び代行業者への手数料の支払いなど、大きくコストがかかることから、今後も慎重に協議を進めていく。	△	環境整備には、オンライン接続用の専用回線の整備や、システム整備及び代行業者への手数料の支払いなど、大きくコストがかかることから、今後も慎重に協議を進めていく。	△	環境整備には、オンライン接続用の専用回線の整備や、システム整備及び代行業者への手数料の支払いなど、大きくコストがかかることから、今後も慎重に協議を進めていく。	△	平成29年度よりコンビニエンスストアによる収納事務を行う予定だったが、基幹システム会社が平成29年度から変更となることが決まったため、平成30年度実施に延期となった。
14	認定こども園の検討					検討委員会の設置	住民福祉課	-	平成24年度該当なし。	-	教育委員会から回答	-	教育委員会から回答	-	教育委員会から回答	-	教育委員会から回答	
							教育委員会	△	町子ども子育て会議において平成26年度に策定される町子ども子育て支援事業計画により認定こども園に対する方針を定めることに伴い、検討委員会を設置し、検討することとした。	△	町子ども子育て会議において今年度策定され、平成27年度から実施される町子ども子育て支援事業計画によるこども園に対する方針に従い、検討委員会を設置し、検討することとした。	△	平成27年度から5年間の計画期間である町子ども子育て支援事業計画において、保育所・幼稚園の一体化等への検討については、「教育・保育ニーズに適切に対応し、各園の実情や町の財政状況を十分に勘案して、統廃合や一体化等を検討すること」になったことに鑑み、必要に応じて検討委員会を設置し、検討することとした。	△	町立幼稚園・保育園運営連携会議を4回開催し、幼稚園・保育園の運営状況や問題点の抽出、幼保一元化についての検討を行った。			

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
 【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

(3) 時代に即したイベント運営

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
15	各種イベントの見直し	■	■	■	■	■	イベント検討会の設置(毎年1事業見直し)	総務課	○	町民施行30周年記念事業の一環として、特別事業、既存事業を含め、プロジェクト、実施委員会、予算査定を通じ、効果のある事業を検討・計画・実施を庁内全体で進めてきた。 また、試験的に行った「オータム・コンサート」も、新たな事業として通年行事に加えられた。 民間においては、昨年に続き、「なかさと公園・さくら祭り」や利根川河川敷における「ボタリングフェスティバル」も開催された。	◎	町民体育祭などの毎年実施される行事について内容を検討して、開催を行っている。 サマージャズコンサート、クリスマスファミリーコンサートなど音楽系の催物を多く開催。 フットサル大会など時代に合った体育系新イベントを開催。 「なかさと公園・さくら祭り」など民間主導のイベントが定期的に開催されるようになった。	◎	千代田の祭川せがきや産業祭などの毎年盛大に実施される行事については、特に前年度実施状況を踏まえて、プログラム内容などを検討・協議し、開催を行った。 クリスマスコンサート、スプリングコンサートなど音楽系の催物も定期的に行われるようになった。 「なかさと公園・さくら祭り」など民間主導のイベントも今年で4回目が行われ、地域へ定着してきた。 新たな取組みとして、邑楽郡地域ふれあい物産展を地元大型ホームセンターで盛大に開催できた。	◎	千代田の祭川せがきや産業祭などの毎年盛大に実施される行事については、前年度実施状況を踏まえて、プログラム内容などを検討・協議し、改善しながら開催を行った。 オータムコンサート、クリスマスコンサートなど音楽系の催物も定期的に行われるようになった。 「なかさと公園・さくら祭り」など民間主導のイベントも今年で5回目が行われ、地域へ定着してきた。 また、抽選会に關してもなかさと公園で、オータムコンサートと同時に開催を行うことで、イベントの相乗効果を得ることができ予想以上の集客があった。 千代田町産業祭では、会場を中学校から東部運動公園に移し、前例踏襲に促されない柔軟な発想による事業展開を行うことができた。 おもてなしを基調とした新イベントとして、第1回より利根川おもてなしマラソンを盛大に開催することができた。 さらに、例年、地域団体が主体となって開催して来たなかさと公園さくらまつりの連携をはかり、植木の里千代田町をPRするべく「植木の里 さくらまつり」として、盛大に開催することができた。	◎	国の地方創生加速化交付金を活用し、千代田の祭川せがき事業を今年度は「川施鯉鬼発祥140年・納涼祭開催100回記念」として、例年以上の魅力的なイベント内容を展開できた。 新たな事業として、千代田町魅力アッププロジェクト「ハンズ」と題して町内外の見どころポイントなどを巡ってもらうことで、町内外に向けて広く本町の地域的な魅力を発信することができた。 また、抽選会に關してもなかさと公園で、オータムコンサートと同時に開催を行うことで、イベントの相乗効果を得ることができ予想以上の集客があった。 千代田町産業祭では、会場を中学校から東部運動公園に移し、前例踏襲に促されない柔軟な発想による事業展開を行うことができた。 おもてなしを基調とした新イベントとして、第1回より利根川おもてなしマラソンを盛大に開催することができた。 さらに、例年、地域団体が主体となって開催して来たなかさと公園さくらまつりの連携をはかり、植木の里千代田町をPRするべく「植木の里 さくらまつり」として、盛大に開催することができた。
							住民福祉課		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。	
							環境保健課	○	食育をテーマにした体験や自転車オークションなど来所者が楽しそうに参加していた。	○	健康まつりを保健センターまつりとし、保健分野のみでなく、環境や下水道に関するコーナーを増やした。 また、クイズやスタンプラリーを取り入れ、体験型のイベントに心がけた。	◎	保健センターに所属する環境、保健、下水道係がそれぞれ住民にアピールしたい事業についてテーマを決めて啓蒙を図った。 景品付きのクイズやリサイクル品の抽選会を実施し、会場に活気がみられた。	◎	平成27年度は、応急手当講習や救急車・消防自動車体験等、消防の体験コーナーを取り入れ、参加型コーナーの充実にも努めた。	◎	総務課企画調整係と連携し、保健センターまつりの際、公共バスの乗り方教室を実施した。公共バスを展示し、町民の皆さんに実際にバスに乗っていただく等体験していただき、公共バスの利用促進を図った。	
							経済課	○	千代田の祭川せがきについて、町制30周年記念事業として、花火等盛大に実施できた。 産業祭については、町制30周年記念事業として、仮設のステージを設置して、これまで前座として実施していたアトラクションとその他の演出をステージ上でを行い、会場内を盛り上げることができた。	◎	千代田の祭川せがきについては、今年度高額寄附者がいたため、花火を盛大に実施することができた。 産業祭については、昨年度に町制30周年記念事業の目玉として設置した仮設ステージを、今年度も引き続き設置し、Menkoiガールズ等の演出を行い、会場を盛り上げることができた。 出店数についても、昨年度よりも2団体増え、全36団体が出店し大変な賑わいをみせた。	○	千代田の祭川せがきについては企業の寄付金が数社増え、また、寄附の金額が多く集まったため、積立金の取崩しもなく花火を含め祭を盛大に実施することができた。 産業祭については、今年度も仮設ステージを利用したイベントを行った。 内容としては、県警による腹話術の安全安心講話やマジック戦隊MCOショー、また小田えつこさんの歌謡ショー等で、特に小田さんには総合司会まで担当していただき、会場内を大いに盛り上げることができた。 出店についても、昨年度と同様に36団体が出店し大変な賑わいをみせた。	○	千代田の祭川せがきについては、昨年と比べ寄付した企業が12事業所(366事業所)増え、寄附金額も多く集まり、積立金の取崩しもなく祭を実施することができた。 また、メッセージ花火を取り入れたことにより花火を盛大に打ち上げられた。 産業祭については、今年度も仮設ステージを利用したイベントを行った。 内容としては、県警による腹話術の安全安心講話やMenkoiガールズとcocoro学園では歌とダンス等、特にMenkoiガールズには書道パフォーマンスをしていただき、会場内を大いに盛り上げることができた。 出店についても、本部企画を含め38団体が出店し大変な賑わいをみせた。	◎	千代田の祭川せがきについては、地方創生加速化交付金を活用し、発祥140年、開催100回記念事業として、打上花火を中心に芸能人のステージや浴衣コンテストなどもスケジュールに取り入れ盛大に開催した。 産業祭についても地方創生加速化交付金を活用し、開催場所を東部運動公園に変更するとともに、ステージ演出や出展内容を例年より拡充して盛大に開催した。	
							都市整備課(建設水道課)		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。		対象となるイベント(事業)がないため、担当課から除外。	
							教育委員会	○	町民プラザでは、今年度のクリスマスコンサートは「子供から高齢者まで楽しめるコンサート」をテーマに、住民参加型のイベントとして開催した。 社会体育では、各イベント開催後に関係団体会議出席者やイベント執務者などに反省点等の意見聴取を実施。	○	町民プラザでは、プロ野球日本一になった東北楽天ゴールデンイーグルス所属の本町出身者、岡島豪郎選手による講演会を開催した。 スプリングコンサートとして、日本ではめずらしい金管8重奏のコンサートを行った。 社会体育では、町民体育祭については当日勤務職員向けにアンケート調査を実施、一般野球大会については参加選手向けに開催日程等についてアンケート調査を実施、新規イベントとしてフットサル大会を実施した。 また、各イベント開催後の関係団体会議において内容の反省点等の意見聴取を実施し、指摘事項については翌年度以降の運営に可能な限り反映させることとした。	○	各イベント開催時に参加者からの意見募集や開催後の関係団体会議において内容の反省点等について協議し、翌年度以降の運営に可能な限り反映させることとした。	○	町民プラザでは、町民教養講座として舞の海秀平氏による講演会を開催し、クリスマスコンサートとして本町出身の音楽家、後閑由治氏によるコンサートを開催した。 温水プールでは、新規教室として親子水泳教室を開催し、総合型地域スポーツクラブの「ちよだスポーツクラブ」では、初めての試みとなるスポーツフェスティバルを開催した。 また、各イベント開催時に参加者からの意見募集や開催後の関係団体会議において内容の反省点等について協議し、翌年度以降の運営に可能な限り反映させることとした。	○	町民プラザでは、町民教養講座において劇団かかし座による「長靴をはいた猫」の影絵を上映し、クリスマスコンサートとして町内に在住のピアノ奏者である塩田尚子氏等によるコンサートを開催、オータムコンサートでは小室等氏等によるコンサートを行った。 総合型地域スポーツクラブの「ちよだスポーツクラブ」では、新規教室として太極拳教室を開催し、その後、教室に参加したメンバーでクラブを立ち上げた。 また、各イベント開催時に参加者からの意見募集や開催後の関係団体会議において内容の反省点等について協議し、翌年度以降の運営に可能な限り反映させることとした。	

(4) 公共施設の効率的・効果的活用の推進

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
16	民間委託及び指定管理者制度導入の推進	■	■	■	■	■	・町民プラザ、給食センター、図書館等の民間委託・指定管理者制度導入の検討 ・幼稚園、保育園の民営化の研究 ・シルバー人材活用の検討	総務課		総務課では、民間委託・指定管理者を導入できる施設はないが、各担当課との調整を図りながら、検討を進めていく。		総務課では、民間委託・指定管理者を導入できる施設はないが、各担当課との調整を図りながら、検討を進めていく。		総務課では、民間委託・指定管理者を導入できる施設はないが、各担当課との調整を図りながら、検討を進めていく。		総務課では、民間委託・指定管理者を導入できる施設はないが、各担当課との調整を図りながら、検討を進めていく。		総務課では、民間委託・指定管理者を導入できる施設はないが、各担当課との調整を図りながら、検討を進めていく。
							住民福祉課	○	総合福祉センター、児童館、自立支援サービスセンターの3施設について、指定管理者制度を活用。	○	総合福祉センター、児童館、自立支援サービスセンターの3施設について、指定管理者制度を活用。	○	総合福祉センター、児童館、自立支援サービスセンターの3施設について、指定管理者制度を活用。 次期管理委託期間(平成27年度～平成29年度)について、指定管理制度を引き続き活用するため、管理者の募集を行った。	○	総合福祉センター、児童館、自立支援サービスセンターの3施設について、指定管理者制度を活用。	○	総合福祉センター、児童館、自立支援サービスセンターの3施設について、指定管理者制度を活用。	
							教育委員会	△	既存施設の管理運営上、民間委託の活用又は指定管理者制度の導入について、引き続き検討。	○	町民プラザでは、ホールの行事について、音響・照明操作の一部民間委託を始めた。 温水プールでは、施設運営の一部民間委託を継続して実施した。 東部運動公園では、緑地管理業務についてシルバー人材センターの活用を拡大させ、継続して実施した。 その他既存施設の管理運営上、民間委託の活用又は指定管理者制度の導入について、引き続き検討していく。	○	町民プラザでは、ホールの行事については、音響・照明操作を民間委託し、また、各貸館的行事については、照明操作等を各団体が行った。 温水プールでは、施設運営の一部民間委託を引き続き実施した。 東部運動公園では、シルバー人材センターへの緑地管理業務委託を引き続き実施した。 その他既存施設の管理運営における民間委託の活用及び指定管理者制度の導入については、引き続き検討していく。	○	町民プラザでは、ホールの行事における音響・照明操作の一部民間委託を継続して実施した。 また、施設内の清掃業務の一部をシルバー人材センターに委託して実施した。 温水プールでは、施設運営の一部民間委託を引き続き実施した。 東部運動公園では、シルバー人材センターへの緑地管理業務委託を引き続き実施した。 その他既存施設の管理運営における民間委託の活用及び指定管理者制度の導入については、引き続き検討していく。	○	町民プラザでは、ホールを使用した行事における音響・照明操作の一部民間委託を継続して実施した。 また、施設内の清掃業務の一部をシルバー人材センターに委託して実施した。 温水プールでは、施設運営の一部民間委託を引き続き実施した。 東部運動公園では、シルバー人材センターへの緑地管理業務委託を引き続き実施した。 その他既存施設の管理運営における民間委託の活用及び指定管理者制度の導入については、引き続き検討していく。	

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
 【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

17	公共施設のサービス向上	■ ■ ■ ■ ■	サービス内容の検討	総務課	○	平成23年7月～平成24年6月までの窓口時間延長業務取扱いの実績(住民福祉課:720件、財務課:182件、建設水道課:58件、会計課:747件、総務課:9件、保健センター:27件)	○	平成25年度においても窓口業務の時間延長を実施した。平成25年9月号・10月号広報及びホームページにて周知を行っている。	○	平成26年度においても窓口業務の時間延長を実施した。平成26年10月号広報及びホームページにて周知を行っている。	○	平成27年度においても窓口業務の時間延長を実施し、ホームページにて時間延長について周知を行っている。また、公共施設利用者に対しアンケートを実施し、公共施設等総合管理計画を策定した。	○	平成28年度においても窓口業務の時間延長を実施し、平成28年10月号広報及び町ホームページにて時間延長について周知を行った。
				都市整備課(建設水道課)	○	平成24年4月1日より、パーベキュー棟と野球場の使用料の徴収を開始し、利用者負担をお願いしている。	○	平成24年度から野球場等の使用料の徴収を開始。バックネット裏の日よけ屋根新設については、継続して予算確保を図っていく。	△	バックネット裏の日よけ屋根設置までの予算確保が図られていない。今後も予算確保を継続していく。	△	なかさど公園野球場のバックネット裏観覧席について、日よけ工事予算確保が図られなかったため、今後も予算確保を継続していく。	△	なかさど公園野球場のバックネット裏観覧席について、日よけ設置工事予算確保が図られなかったため、今後も予算確保を継続していく。
				教育委員会	○	温水プール・総合体育館では、東部運動公園各施設における大規模大会開催時に問題となっていた駐車場不足対策として新たに94台分の駐車場を設置。また、利用者アンケートをもとに温水プールコース利用の見直しを実施。図書館では、学校図書館のシステム化及び町立図書館とのネットワーク化について検討、協議を行った。	○	町民プラザでは、住民ニーズに対応した休館日の設定について検討を行った。学校図書館のシステム化及び町立図書館とのネットワーク化について、引き続き課題として検討を行った。温水プールでは、男女更衣室のロッカーの入替えを実施。また、プール室内において希望の多かった音楽放送を実施した。入場者の利用状況に応じて、ウォーキング・水泳・遊泳コースの適時コース変更を実施した。従来からあった一般向けの回数券に加え、新たに高校生と中学生以下の回数券を追加した。サッカー場では、芝養生期間中も、町内のサッカー関係団体の練習に限定して使用を拡大した。	○	学校図書館と町立図書館の間で意見交換を行い、ネットワーク化について検討を行った。サッカー場では、芝養生期間中における町内のサッカー関係団体の練習に限定した使用を継続した。温水プールでは、プール室内の音楽放送を引き続き実施した。入場者の利用状況に応じて、ウォーキング・水泳・遊泳コースの適時コース変更を実施した。従来からあった一般向けの回数券に加え、新たに高校生と中学生以下の回数券を追加した。施設利用者の利便性向上を目的として各施設における休館日の設定を検討するとともに、町立図書館では利用者を対象に休館日や開館時間に関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに今後の運営方針に反映させていく。	◎	町民プラザでは、休館日の見直しを行い、祝日を休館とし、祝日開館に伴う振替休館をなくすことにより、利用者の利便性向上を図った。町立図書館では、学校図書室とのネットワーク化について、司書意見交換会において導入に伴う具体的な経費面等の検討を行った。温水プールでは、利用者の利便性向上のため、休館日の見直しを行い、月曜日が祝日の場合には開館し、翌日以降の休日でない日を振替休館とした。また、入場者の利用状況に応じて、ウォーキング・水泳・遊泳コースの適時コース変更を実施した。施設利用者から要望のあった65歳以上の利用料金設定についての検討を行った。サッカー場では、芝養生期間中も、町内のサッカー関係団体の練習に限定して使用を継続した。	○	町民プラザでは、利用率の低い祝日を休館日とし、平日に振替休館日を設けないことで利便性の向上を継続的に図った。温水プールでは、プール室内の音楽放送や入場者の利用状況に応じてウォーキング・水泳・遊泳コースの適時コース変更を昨年度に引き続き実施した。サッカー場では、芝養生期間中も、町内のサッカー関係団体の練習に限定して使用を継続した。町立図書館では、3月に図書館システムの入替えを実施した。また、システム変更に伴い、図書館協議会において学校図書室のシステム化及びネットワーク化について学校図書室のシステム化及びネットワーク化について協議したところ、学校側の要望もあり、学校図書室システムの構築を検討している。
18	施設管理の充実	■ ■ ■ ■ ■	・LED照明・街路灯・休憩所等設置の充実 ・施設維持補修計画の作成	総務課	○	役場庁舎内の一部の部屋をLED照明化。防犯灯のLED化に向けて検討中。	○	役場庁舎内の照明器具については、故障に伴い、随時LED照明へと交換している。防犯灯については、環境省の補助事業を活用し、全灯LED防犯灯へ交換済みであり、平成26年度から10年間のリースが開始される。	○	役場庁舎内の照明器具については、故障に伴い、随時LED照明へと交換している。また、球切れによる交換時においてもLED管等に随時交換している。防犯灯については、環境省の補助事業を活用し、全灯LED防犯灯へ交換済みであり、本年度から10年間のリースがスタートした。	○	平成26年度よりLED防犯灯のリースが開始される。また、役場庁舎内の蛍光灯を随時LEDの蛍光灯へ交換している。	○	平成26年度よりLED防犯灯のリースが開始される。また、役場庁舎内の蛍光灯を随時LEDの蛍光灯へ交換している。
			住民福祉課	○	東保育園調理室改修を実施。東保育園屋根塗装を実施。児童館自動ドアの修繕を実施。	○	東保育園軒天補修を実施 西保育園複合遊具撤去及び新設 西保育園白蟻駆除防蟻を実施 総合福祉センター外壁調査を実施	○	総合福祉センター外壁補修工事を実施 西保育園で雨樋補修工事等を実施 東保育園で床改修工事等を実施	○	児童館で倒壊の危険のあった外壁を撤去。学童保育への高まり続ける需要に対応すべく、西小学童保育所敷地の空きスペースを活用し保育室を新設。5年間のリース方式を採用。西保育園における3歳未満児の需要の高まりを見据え、園舎増築を計画。設計を行い、照明はLEDとし、避難所として活用もできる構造とした。	○	・東保育園において、園児・職員の便所を和式から洋式に替え、一部照明をLED化するなどした。また、老朽化したテラス床の張り替え工事等も行った。 ・西保育園では低年齢児の入所希望の高まりを受け、低年齢児向け園舎を園庭東側に増築した。構造は強固な鉄骨造とし、照明はLEDとしてできる限り長い期間現状を維持できるようなものとした。	
			環境保健課	○	保健センター内の一部の照明をLEDに交換。	○	保健センター内の一部の照明をLEDに交換。	○	保健センター内の一部の照明をLEDに交換。また、保健センター西側が夜間暗く防犯のため、LED防犯灯を設置した。	○	照明器具については、ほぼLED照明に交換できたので、今後は施設補修を計画的に実施していきたい。	○	和式便座から洋式便座へ変更し従来の使いにくさを解消した。	
			都市整備課(建設水道課)	○	8市町共同により業務委託を発注し、広域におけるスケールメリットを生かした基本構想の作成実施(完成平成25年10月予定)。	◎	群馬東部8市町による広域化に向けた動きがあった。(平成25年7月 基本構想策定・9月 基本計画策定・10月21日 群馬県東部水道事業の統合基本協定の締結)	◎	群馬東部8市町による広域化に向けて、群馬東部広域水道事業統合協議会(首長協議)を3回開催した。また群馬東部広域水道事業統合協議会幹事会(部局長協議)を12回開催した。群馬東部広域水道事業統合協議会(部局長協議)を12回開催した。群馬東部水道企業団議会2月定例会を開催した。各専門5分野に分かれての専門部会の開催を随時実施した。	◎	群馬東部8市町による広域化に向けての実施内容。群馬東部広域水道事業統合協議会(首長協議)を1回開催した。その後、群馬東部水道企業団理事会(首長会議)へ移行し1回開催した。群馬東部水道企業団議会2月定例会を開催した。各専門5分野に分かれての専門部会の開催を随時実施した。H 28.4.1より群馬東部水道企業団による事業運営を開始できた。(目標達成)	◎	水道事業については、平成28年4月1日から群馬東部水道企業団に移管となったため、該当なし。	
教育委員会	○	西幼稚園では、LED照明・太陽光発電を採り入れて使用開始。山屋記念図書館内照明(低天井)、東小学校内一部照明をLED照明に交換。町民プラザ音響設備パワーアンプ交換等を実施。東部運動公園内に「協働のまちづくり団体」の協力を得て、簡易ベンチを設置。	○	町民プラザでは、焼物窯の交換を行った。町立図書館内照明(高天井)をLED照明(図書室・書庫28箇所)に交換した。温水プール室内の蛍光灯1基をLED蛍光灯に交換した。東部運動公園内に「協働のまちづくり団体」の協力を得て、簡易ベンチを継続して設置した。	○	町立図書館では、平成24年度(14箇所)、平成25年度(28箇所)、平成26年度(54箇所)の3年間で館内全室(トイレ・給湯室を除く。)の照明をLED照明に交換した。温水プールでは、衛生的で安全な施設運営のため、プールサイド等の床シートの張替えやロボイの男女トイレを和便器から洋便器に交換した。また、プール室内での音楽放送や入場者の利用状況に応じたコースの随時変更を継続実施した。	○	町民プラザでは、舞台吊物操作盤・ホール電動椅子部品交換・浄化槽の交換等工事を行った。温水プールでは、プール室内の水銀灯具をLED灯具に、事務所等の室内蛍光灯をLED蛍光灯に交換した。	○	町民プラザでは、ギャラリーや研修室等の蛍光管をLED蛍光管に交換して節電を図り、研修棟1階の男女・多目的トイレの洋便器を温水洗浄便座に改修した。また、スポーツ振興くじ助成金を使用し、町民体育館の床改修や総合体育館のジョギングマシンの設置を行った。総合体育館・温水プールでは、非常照明の取替を行い、温水プールの外壁等改修を実施した。東部運動公園では、屋外放送設備を設置した。図書館の場所が分かりづらいため、役場駐車場南西側に案内看板を設置した。				

3 組織・機構の改革

(1) 組織・機構の見直し

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉			進捗状況〈平成25年度〉			進捗状況〈平成26年度〉			進捗状況〈平成27年度〉			進捗状況〈平成28年度〉		
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績			
19	役員体制の検討	■	■	■	■	■	男女共同参画の推進	住民福祉課	△	役員入選時に向け検討。	○	平成25年12月に民生委員児童委員が一斉改選され、副会長に女性1名が就任した。	◎	来年度、任期が終了する保護司1名(男性)の後任として、女性1名を推薦した。今年度で任期が切れる人権擁護委員1名(女性)の後任として、女性1名を任命した。	◎	男性保護司(1名)の後任推薦者を女性(1名)の方とした。	◎	平成28年12月に民生委員児童委員が一斉改選され、改選前の副会長が男性1名、女性1名であったのに対し、改選後は女性2名が就任した。 ・男性保護司(1名)の後任推薦者を女性(1名)の方とした。					
20	役員報酬額の検討	■	■				報酬の日当制・半日当制の検討	総務課	○	平成25年3月議会において、千代田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正を行い、教育委員・農業委員会について月額支給から年額支給へと改正を行った。	△	平成24年度に千代田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正を行っているため、今年度の見直しは実施しなかった。	△	平成26年度該当なし	△	平成27年度該当なし	△	平成28年度該当なし					
21	議員充て職の見直し	■					充て職廃止の検討	総務課	○	議会事務局において平成24年11月に議員充て職の調査を行い、国民健康保険運営協議会委員・社会福祉協議会理事については充て職を廃止することとした。	△	平成25年度該当なし	△	平成26年度該当なし	△	平成27年度該当なし	△	平成28年度該当なし					
22	住民対応への検討	■	■	■	■	■	専門職員設置の検討	総務課	△	館林市は警察官OB2名雇用・大泉町は警察官OB1名雇用。平成25年度予算にて臨時職員(警備員)を要求。	◎	平成25年10月より庁舎内に安全安心保安員を設置し、役場庁舎内の安全安心確保に努めるとともに、各公共施設の巡回や学童・生徒の下校時の見守りを実施。	◎	平成26年4月より庁舎内に警察官OBの安全安心保安員を設置し、役場庁舎内の安全安心確保に努めるとともに、各公共施設の巡回や学童・生徒の下校時の見守りを実施した。	◎	昨年度に引き続き庁舎内に警察官OBの安全安心保安員を設置し、役場庁舎内の安全安心確保に努めるとともに、各公共施設の巡回や学童・生徒の下校時の見守りを実施した。	◎	昨年度に引き続き庁舎内に警察官OBの安全安心保安員を設置し、役場庁舎内の安全安心確保に努めるとともに、各公共施設の巡回や学童・生徒の下校時の見守りを実施した。					

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
 【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

4 人育成・管理の改革

(1) 職員管理の見直し

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
23	職員の健康管理	■	■	■	■	■	・健康診断(人間ドック含む)の100%受診 ・産業医による面談の活用(毎月1回実施)	総務課	○	本年の職員健康診断(人間ドックを含む)受診率は96.2%。 産業医による面談は月1回実施。	○	本年の職員健康診断(人間ドックを含む)受診率は96.1%。 産業医による面談は月1回実施。 全職員対象としたメンタルヘルス研修を実施。	○	本年の職員健康診断(人間ドックを含む)受診率は97.5%。 業務により健診を受診できなかった職員を、他の事業所で受診できるように改善を図った。 特に健康指導が必要と思われる該当者に対し、産業医の個別指導を実施した。	○	本年の職員健康診断(人間ドックを含む)受診率は93.0%。 特に健康指導が必要と思われる該当者に対し、産業医の個別指導を実施した。 また、労働安全衛生法の改正によりストレスチェックが義務付けとされたため、平成28年度の実施に向け対応方法の検討を行った。	○	職員健康診断(人間ドックを含む)受診率:95.6%。 高ストレス者及び健康指導が必要と思われる該当者に対し、産業医の個別面接指導を計画し、周知した。
24	職員の事務量の把握	■	■	■	■	■	職員の事務量の把握(事務記録(日誌)の記帳)	総務課	△	事務記録(日誌)の記帳は行っていないが、平成23年度に導入した事務事業手順書により担当ごとの事務量の把握を行う。	△	事務記録(日誌)の記帳は行っていないが、平成23年度に導入した事務事業手順書により担当ごとの事務量の把握を行う。	△	事務記録(日誌)の記帳は行っていないが、平成26年度に内容を更新した事務事業手順書により担当ごとの事務量の把握を行う。	△	事務記録(日誌)の記帳は行っていないが、平成23年度に導入した事務事業手順書により担当ごとの事務量の把握を行う。	△	事務記録(日誌)の記帳は行っていないが、平成23年度に導入した事務事業手順書により担当ごとの事務量の把握を行う。

(2) 人育成の推進

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
25	人材育成基本方針の見直し	■	■				人材育成基本方針の見直し	総務課	△	平成14年4月1日策定の人材育成基本方針を見直し、人材育成基本方針(案)の作成途中である。 人材育成の基礎となる職員の資質向上を目指したワークマニュアルを策定し、親切な対応ときちんとした服装・言葉づかいで町民の皆様へ接することを、マニュアルとして明文化した。	◎	人財育成基本方針(案)を平成26年2月課長会にて審議していただき、平成26年3月に新たな人財育成基本方針を策定。	△	平成26年度該当なし	△	平成27年度該当なし	△	平成28年度該当なし
26	職員の意識改革の促進	■	■	■	■	■	・設定テーマ研修の実施 ・意見発表会の実施	総務課	○	平成24年度は設定テーマ研修として、管理職対象の情報公開・個人情報保護研修、全職員対象の消費者行政・認知症研修を町独自の研修として実施。	○	平成25年度は設定テーマ研修として、全職員対象に情報漏えい事故対策研修とメンタルヘルス研修を実施、法制執務能力向上のために3日間集中の法制執務研修を実施、現場において作業用機械を取り扱う職員向けにチェーンソー取扱い講習を実施。	○	平成26年度では、例規事務を担当する職員向けに法制執務研修を実施。現場作業を担当する職員向けに刈り払い機取扱い講習を実施し、修了証の交付を行った。	○	平成27年度は設定テーマ研修として、全職員対象にマイナンバー制度研修を実施。法制執務能力向上のための法制執務研修を実施した。	○	全職員を対象とした障害者差別解消法研修や係長以上を対象とした法制執務研修を実施した。
27	職員研修の充実強化	■	■	■	■	■	階層別職員研修の充実強化	総務課	○	町村会主催の階層別研修(新採用職員・一般職員・係長・課長)に参加するとともに、30～35歳を対象とした館林邑楽合同研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修を行った。	○	町村会主催の階層別研修(新採用職員・一般職員・係長・課長)に参加するとともに、30～35歳を対象とした館林邑楽合同研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修を行った。	○	町村会主催の階層別研修(新採用職員・一般職員・係長・課長)に参加するとともに、20代後半～35歳を対象とした館林邑楽合同研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修を行った。	○	町村会主催の階層別研修(新採用職員・一般職員・係長・課長)に参加するとともに、25～35歳を対象とした館林邑楽合同研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修を行った。	○	町村会主催の階層別研修(新採用職員・一般職員・係長・課長)に参加するとともに、20代後半～35歳前後を対象とした館林邑楽合同研修(地域課題合同職員研修)への参加や町独自の研修を行った。
28	専門職員育成	■	■	■	■	■	専門研修の推進(社会教育主事、ケアマネージャー、水道施設管理者等の資格取得の推進)	総務課	△	今後必要と思われる専門職員・資格について検討。	△	今後必要と思われる専門職員・資格について検討。	△	今後必要と思われる専門職員・資格について検討。	△	今後必要と思われる専門職員・資格について検討。	△	今後必要と思われる専門職員・資格について検討。
29	ボランティア活動への参加	■	■	■	■	■	ボランティア活動を通じた地域貢献の推進(消防団職員加入数:現状4名⇒目標値6名)	総務課	○	職員の消防団員への加入者数4名から5名へ増員。職員の河川美化運動への参加者数は、4月22日に104名、7月14日に81名。	○	職員の消防団員への加入者数は退団者がいたため、4名となった。職員の河川美化運動への参加者数は、7月13日に62名(4月に予定されていた河川美化運動は雨のため中止)。	◎	職員の消防団員への加入者数は新入団により6名となった。職員の河川美化運動への参加者数は、4月20日に87人、7月12日に94名。	◎	職員の消防団員への加入者数は7名。河川美化運動へ職員親睦会として参加。	○	職員の消防団員への加入者数は7名。河川美化運動へ職員親睦会として参加。

(3) 人権・男女共同参画社会の推進

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
30	人権・男女共同参画に関する施策の推進	■	■	■	■	■	人権・男女共同参画に関する施策の推進	住民福祉課 教育委員会	○	「千代田町人権教育・啓発の推進に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発を推進。また、人権啓発講演会や研修会等に参加。	○	人権講演会を実施、人権啓発リーフレットを作成し人権教育・啓発を推進。	○	人権講演会を実施、人権啓発リーフレットを作成し人権教育・啓発を推進。	○	人権講演会を実施、人権啓発リーフレットを作成し人権教育・啓発を推進した。	○	人権講演会を実施し、人権啓発リーフレット等の作成・配布や広報紙掲載を行い、人権教育・啓発を推進した。
		■	■	■	■	■			○	人権教育講演会の開催(一般対象、中学校全生徒・保護者・管内の全教職員対象の計2回) 人権教育啓発リーフレットの全戸配布、人権教育啓発作品巡回展の開催(企業との連携)、人権教育啓発優秀作品の表彰。 各種人権関係研修会参加。 人権教育啓発資料(リーフレット)のホームページに掲載。	○	町民プラザにおいて、人権教育講演会(一般対象)を開催。 人権教育啓発リーフレットの全戸配布、人権教育啓発作品巡回展の開催(企業との連携)、人権教育啓発優秀作品の表彰。 各種人権関係研修会に参加。 人権教育啓発資料(リーフレット)をホームページに掲載。	○	町民プラザにおいて、人権教育講演会(一般対象)を開催。 人権教育啓発リーフレットの全戸配布、人権教育啓発作品巡回展の開催(企業との連携)、人権教育啓発優秀作品の表彰。 各種人権関係研修会に参加。 人権教育啓発資料(リーフレット)をホームページに掲載。	○	町民プラザにおいて、人権教育講演会(一般対象)を開催。 人権教育啓発リーフレットの全戸配布、人権教育啓発作品巡回展の開催(企業との連携)、人権教育啓発優秀作品の表彰を行った。各種人権関係研修会に参加した。人権教育啓発資料(リーフレット)をホームページに掲載した。	○	町民プラザにおいて、人権教育講演会(一般対象)を開催した。人権教育啓発リーフレットの全戸配布、人権教育啓発作品巡回展の開催(企業との連携)、人権教育啓発優秀作品の表彰を行った。各種人権関係研修会に参加した。人権教育啓発資料(リーフレット)をホームページに掲載した。

(4) 人事管理体制の見直し

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
31	職員意識アンケートの実施	■	■	■	■	■	人事等に関する職員意識アンケートの実施(年1回実施)	総務課	△	平成25年度のアンケート実施に向け、アンケート内容の検討を行う。	◎	平成25年8月に定年退職予定者に対し、再任用雇用アンケートを実施し、平成26年度採用予定者数に反映させた。	◎	平成26年8月に定年退職予定者に対し、再任用雇用アンケートを実施し、平成27年度採用予定者数に反映させた。	◎	平成27年9月に定年退職予定者に対し、再任用雇用アンケートを実施し、平成28年度採用予定者数に反映させた。	◎	平成28年8月に定年退職予定者に対し、再任用雇用アンケートを実施し、平成29年度採用予定者数に反映させた。
32	人事評価制度の充実	■	■	■	■	■	人事評価制度の充実(年1回⇒年2回) 自己申告制度導入の研究	総務課	○	平成24年度については、年1回の人事評価を行った。町村会主催の人事評価実務研修会に評価者(課長職)を派遣。	○	平成25年度については、年1回の人事評価を行った。町村会主催の人事評価実務研修会・面接試験技法研修会に人事担当者を派遣。	○	平成26年度については、年1回の人事評価を行った。町村会主催の人事評価実務研修会・面接試験技法研修会・群馬県による人事評価講演会に人事担当者を派遣。 地公法改正により平成28年度より義務付けとなる人事評価制度の調査研究を行った。	○	平成27年度についても、年1回の人事評価を行った。町村会主催の人事評価実務研修会・面接試験技法研修会・群馬県による人事評価講演会に人事担当者を派遣。 地公法改正により平成28年度より義務付けとなる人事評価制度の調査研究を行った。	◎	平成28年度より人事評価制度の運用が始まり、自己申告に基づく年2回の業績評価及び年1回の能力評価を行った。また、町村会主催の人事評価実務研修会に評価職員を、群馬県による人事評価講演会に人事担当者を派遣した。

第6次 千代田町行政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施
【担当課】カッコ内は機構改革前の担当課

5 協働のまちづくりの推進

(1) 行政への町民参加の推進

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
33	協働のまちづくり事業の推進	■	■	■	■	■	・協働のまちづくり団体の育成推進(現状8団体⇒目標値10団体) ・若年層の参画と協働の推進	総務課	◎	平成24年度協働のまちづくり団体は、11団体が事業を推進。 また、個人参加の町づくりサポート事業も継続して行われている。	◎	平成25年度協働のまちづくり団体は、11団体が事業を推進。 また、個人参加の町づくりサポート事業も継続して行われている。	◎	平成26年度協働のまちづくり団体は、10団体が事業を推進。 また、個人参加の町づくりサポート(広報紙評価やパソコン教室補助等)事業も継続して行われている。	◎	平成27年度協働のまちづくり団体は、9団体が事業を推進。 また、個人参加の町づくりサポート(広報紙評価やパソコン教室補助等)事業も継続して行われている。	◎	平成28年度協働のまちづくり団体は、9団体が事業を推進。 また、個人参加の町づくりサポート(広報紙評価やパソコン教室補助等)事業も継続して行われている。
34	ボランティア団体の再構築	■	■	■	■	■	ボランティア団体等の選出方法や組織の研究	総務課	○	社会福祉協議会のボランティアセンターによる継続的な啓発活動の推進。 協働のまちづくり団体の募集と事業の推進。平成24年度は、11団体が活動。	○	社会福祉協議会のボランティアセンターによる継続的なボランティアの育成・啓発活動の推進。 協働のまちづくり団体の募集と事業の推進。平成25年度は、11団体が活動。	○	社会福祉協議会のボランティアセンターによる継続的なボランティアの育成・啓発活動の推進。 協働のまちづくり団体の募集と事業の推進。平成26年度は、10団体が活動。	◎	社会福祉協議会のボランティアセンターによる継続的なボランティアの育成・啓発活動の推進。 協働のまちづくり団体の募集と事業の推進に対して、平成27年度は9団体の活動が展開された。	◎	社会福祉協議会のボランティアセンターによる継続的なボランティアの育成・啓発活動の推進。 協働のまちづくり団体の募集と事業の推進に対して、平成28年度は9団体の活動が展開された。
35	町民まちづくりアンケートの実施	■					町内におけるインターネット利用率調査等の町民アンケートの実施	総務課	△	平成23年度から実施された「第五次総合計画」策定のアンケートにより、町民の方々が行政情報をどのように入手しているか調査を行ったが、本年度ではアンケートの実施はしていない。 本年度の検討結果として、平成25年度以降の町民集会等において継続してアンケートを聴取することとした。		平成25年度該当なし		平成26年度該当なし		平成27年度該当なし		平成28年度該当なし

(2) 情報の集約と伝達方法の簡素化

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
36	パブリックコメントの推進	■	■	■	■	■	パブリックコメントの推進	総務課	○	パブリックコメント募集案件(平成24年7月実施の千代田町暴力団排除条例(案)1件)	-	今年度はパブリックコメントの対象となる案件がなかった。	◎	パブリックコメント募集案件(平成27年2月実施の「千代田町地域福祉計画・千代田町地域福祉活動計画」「千代田町子ども・子育て支援事業計画」「千代田町第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の3件)	◎	パブリックコメント募集案件(平成27年12月実施の「千代田町人口ビジョン及び総合戦略(素案)」・平成28年1月実施の「第3期千代田町障がい者計画(素案)」の2件)	◎	パブリックコメント募集案件(平成28年8月実施の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(素案)」・同月実施の「千代田町地域防災計画(案)」・平成28年9月実施の千代田町農業委員会に関する条例(案)」・平成29年2月実施の「千代田町耐震改修促進計画(素案)」・平成29年3月実施の「第7次千代田町行政改革大綱(案)」の5件)
37	広報広聴の充実強化	■	■	■	■	■	町ホームページの見直し、情報発信の強化	総務課	◎	平成24年4月1日にホームページのリニューアルに伴い、各課局の情報を新たなものに変更を行った。 また、各ページにおいて、リニューアルされた内容となっており、随時代時に即した内容の更新に努めた。	◎	各課局から出される最新情報の迅速な公開。 トップページの町風景写真を季節・行事に合わせて紹介。 マスコットキャラクターのコーナーを更新。 バナー広告欄を増やし、広告料の増加を図った。	◎	各課局からの最新情報を迅速に公開できるように取り組みを実施。 トップページの町風景写真を季節や行事に合わせて、定期的に更新して紹介。 町のマスコットキャラクター「みどりちゃん」のページを拡充し、活動状況も随時更新を実施。 バナー広告欄については、広告枠の空き期間がないように募集案内の周知を図った。 ホームページの全面リニューアルから4年を迎えるため、町ホームページの次期リニューアルの方向性や運用方法なども内部検討を行ってきた。	◎	各課局からの最新情報を迅速に公開できるように、更新作業は随時行ってきた。 トップページの町風景写真を季節や行事に合わせて、定期的に更新して紹介したり、新着情報も分かりやすく配置してきた。また、みどりちゃんチャンネルとして、地域の魅力を短編動画撮影を行い、フェイスブックで情報発信を行ってきた。 町ホームページに関しては、広告欄における広告枠の空き期間がないように募集案内の周知を図るとともに、前回の全面リニューアルから5年を迎えるため、町ホームページの次期リニューアルの方向性や運用方法などを町制施行35周年事業として検討・協議を行ったが、次年度へ繰り越した。	○	各課局からの最新情報を迅速に公開できるように、更新作業は随時行ってきた。 トップページの町風景写真を季節や行事に合わせて、定期的に更新して紹介したり、新着情報も分かりやすく配置してきた。また、みどりちゃんチャンネルとして、地域の魅力を短編動画撮影を行い、フェイスブックで情報発信を行ってきた。 町ホームページに関しては、広告欄における広告枠の空き期間がないように募集案内の周知を図るとともに、前回の全面リニューアルから5年を迎えるため、町ホームページの次期リニューアルの方向性や運用方法などを町制施行35周年事業として検討・協議を行ったが、次年度へ繰り越した。
38	情報公開の推進	■	■	■	■	■	工事予定価格の公表等、情報公開推進の検討	総務課	◎	平成24年度より予定価格を、広報紙及びホームページにて事後公表している。	◎	平成24年度より予定価格を、広報紙及びホームページにて事後公表している。	◎	平成24年度より予定価格を、広報紙及びホームページにて事後公表している。	◎	平成24年度より予定価格を、広報紙及びホームページにて事後公表している。	◎	平成24年度より予定価格を、広報紙及びホームページにて事後公表している。

(3) 地域ブランドの創出

No.	取組項目	取組年度					取組内容	担当課	進捗状況〈平成24年度〉		進捗状況〈平成25年度〉		進捗状況〈平成26年度〉		進捗状況〈平成27年度〉		進捗状況〈平成28年度〉	
		24	25	26	27	28			区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績	区分	取組実績
39	地域ブランドの開発研究	■	■	■	■	■	新特産品の開発研究、地場産品のPR	総務課	◎	町のマスコット「みどりちゃん」の着ぐるみを活用し、イベントやテレビ出演、広報紙及びホームページにも広く活用し、町のイメージアップに努めた。 また、町勢要覧の作成・ホームページのリニューアルや、キャラクターを活用したグッズを作成し、町制30周年を町内外に向け強力に発信を行った。	◎	町マスコット「みどりちゃん」を活用し、イベント、テレビの出演やゆるキャラ・グランプリ参加(全国442位、県6位)するなど精力的に活動した。 町特産品等のイメージアップとして、東京銀座の「ぐんまちゃん家」で町キャンペーンを開催した。	◎	町マスコット「みどりちゃん」を活用し、町内外のイベントにも積極的に参加するほか、テレビ出演(群馬テレビ・ぐんま一番)、ゆるキャラ・グランプリへの継続参加(平成27年度:全国372位、県14位)など、精力的にPR活動を展開した。 町特産品等のPR活動として、東京銀座の「ぐんまちゃん家」で活動を展開するほか、5月には町内の大型ホームセンターを会場として、邑楽郡5町の物産展も開催した。	◎	町マスコット「みどりちゃん」を活用し、町内外のイベントにも積極的に参加するほか、テレビ出演(群馬テレビ・ぐんま一番)、ゆるキャラ・グランプリへの継続参加(平成28年度:全国325位、県8位)など、精力的にPR活動を展開した。 町特産品等の宣伝活動として、5月には町内の大型ホームセンターを会場として、邑楽郡5町の物産展も前年度に引き続き開催することができた。	◎	町マスコット「みどりちゃん」を活用し、町内外のイベントにも積極的に参加するほか、テレビ出演(群馬テレビ・ぐんま一番)、ゆるキャラ・グランプリへの継続参加(平成28年度:全国325位、県8位)など、精力的にPR活動を展開した。 町特産品等の宣伝活動として、10月には町内の大型ホームセンターを会場として、邑楽郡5町の物産展も前年度に引き続き開催することができた。 千代田町ブランドづくり事業の一環として、新商品研究開発支援補助事業を新たに創設し、本町の地域性を生かした独自商品の研究・開発等の支援策に努めた。
							経済課	○	東部農業事務所が中心となって実施している農商工連携「ニガウリで地域おこし」において、研究・協議を行っており、ニガウリの紹介やレシピ、またはニガウリを利用した料理を採用している飲食店等を紹介したチラシやパンフレットを作成し配布を行った。	○	邑楽館林農商工連携会議において「ニガウリで地域おこし」を推進した。その中で、館林地区指導センターにおいて、食品乾燥機を導入し、その機械を利用した組合法人木崎の加工部が「乾燥ニガウリ」の作成に取り組んだ。 今後は、地域特産物の加工品として、商品化に向けた取組みについて、支援を行っていく。	○	今年度も邑楽館林農商工連携会議において地域農産物の活用促進と地域活性化を図るということを目指して様々な事業を実施した。内容としては、ニガウリPRキャンペーンの実施。館林市の廻1グランプリにおいての地域農産物紹介イベントの実施。ドライ野菜・果実の品質向上検討会および利用推進の資料作成などの実施。 今後も引き続き、商品化に向けた取組みについて、支援・協力を行っていく。	○	今年度も邑楽館林農商工連携会議において地域農産物の活用促進と地域活性化を図るということを目指して様々な事業を実施した。内容としては、ニガウリPRキャンペーンの実施。ドライ野菜・果実の品質向上検討会および利用推進の資料作成などの実施。 また、銀座にある「ぐんまちゃん家」において、各種報道・メディア関係者を招待してのPR活動・地域農産物紹介イベントを実施した。 今後も引き続き、商品化に向けた取組みについて、支援・協力を行っていく。	○	例年同様平成28年度も邑楽館林農商工連携会議において地域農産物の活用促進と地域活性化を図るということを目指して様々な事業を実施した。また、平成28年度においては、地方創生加速化交付金を活用し、「植木の里」として、千代田町の植木業のPRを重点的に取り組む。	